

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、反復横跳びが全国平均を上回っており、敏捷性が優れている。
- 男女ともに、筋持久力やスピード、跳躍力や全身持久力に課題が見られる。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・個人のめあてに応じて、選択して取り組むことができるような活動の場や児童が課題を解決できるようなルール
- ・毎時間、授業のはじめに行う、運動能力向上のためのトレーニング
- ・運動量の十分な確保

②改善を図る点

- ・ICTを活用して動画撮影し、自身の動きを確認して、改善点や練習方法を考えたり、動きのポイントやタイミングなど、友達とアドバイスし合ったりする活動の設定
- ・学習プリントやICTを活用し、毎時間、一人一人がめあてを立て、それに対する振り返りを行う場の設定

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・体育科の授業において、児童一人一人がめあてをもって、主体的に学習に取り組むことができるようにするために、課題に応じて取り組むことができる場やルール、学び合い活動などを充実させる。
- ・学校全体として児童一人一人が、楽しみながら運動に取り組むことができるように、チャレンジ縄跳びやスポコン広場の取組など、運動に関する活動や記録会を設定する。